

4月から「ごみ出しルール」を一部変更します

(上野支所・伊賀支所・島ヶ原支所・阿山支所・大山田支所管内)

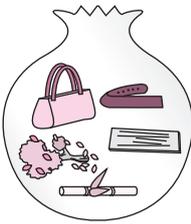
これまで「可燃ごみ」として収集していた、革製品(かばん・靴・ベルト等)、木くず(直径2cm未満の大きさのもの)、竹製品(竹細工・ざる等)を「可燃性粗大ごみ」として収集することとなりました。出し方はこれまで同様、金属・ガラス等はずしてから、ごみ袋に入れて出してください。

また、「ふとん・カーペット類」の出し方については、これまでではひもでしばって出すとしていたため、カーペット等の長いものはロール状に丸めて出されていましたが、今後は丸めずに折りたたんでから、ひもでしばって出してください。

次に、「可燃性粗大ごみ」の「硬質プラスチック」のうち、ペットボトルのキャップは排出頻度も多く、また「可燃ごみ」として処理しても特段支障がないとの判断から「可燃ごみ」として収集します。

※今回の収集方法の変更は、破砕機の故障原因となる金属の混入率の高い革製品、硬い木くずや竹製品といった事前に破砕処理を必要とするものを「可燃ごみ」と分けることにより、機器への負担を軽減し、長期利用を図ることを目的としたものです。この主旨をご理解いただき、今後とも分別収集にご理解とご協力をお願いします。

■可燃ごみから可燃性粗大ごみへの変更■

現 在		4月から
<p>「革製品」 (かばん、靴、ベルト等)</p> 	 <p>「可燃ごみ」 〈金属・ガラス等はずし、ごみ袋に入れる〉</p>	 <p>「可燃性粗大ごみ」 〈金属・ガラス等はずし、ごみ袋に入れる〉</p>
<p>「木くず(直径2cm未満)」 (庭木等)</p> 		
<p>「竹製品」 (竹細工、ざる等)</p> 		

■ふとん・カーペット類の出し方の変更■

現 在	4月から
 <p>「可燃性粗大ごみ」 〈ひもでしばる〉</p>	 <p>「可燃性粗大ごみ」 〈丸めずに折りたたんでから、ひもでしばる〉</p>

■ペットボトルのキャップの出し方の変更■

現 在	4月から
 <p>「可燃性粗大ごみ」 〈ごみ袋に入れる〉</p>	 <p>「可燃ごみ」 〈ごみ袋に入れる〉</p>

図書館だより

Library Information



上野図書館	上野丸之内40-5	☎21-6868
西柘植公民館図書室 (ふるさと会館いが内)	下柘植6243	☎45-9122
島ヶ原公民館図書室 (島ヶ原会館内)	島ヶ原4739	☎59-2058
阿山公民館図書室 (あやま文化センター内)	川合3370-29	☎43-0154
大山田公民館図書室 (大山田農村環境改善センター内)	平田650	☎47-1175
青山公民館図書室 (青山公民館内)	阿保1411	☎52-1110

おはなしボランティア養成講座（初心者向け）受講者募集！！

【対象】 市内在住の方で、講座終了後におはなしボランティアとして上野図書館等で活動する意欲のある方。講座の全日程を受講可能な方。

- 【日程】 ① 3/22 (水) ボランティアとしての意義、
絵本とは、絵本を人に読む楽しさを学ぼう
② 4/12 (水) 選書について（読み聞かせに最適な本とは）
③ 5/17 (水) 聞き手参加型の読み聞かせをしてみよう
④ 6/21 (水) 襟を正して読んでみよう
⑤ 7/19 (水) 「おはなし会」をやってみよう
（プログラムの組み方などを学ぶ）
⑥ 8/ 9 (水) 「おはなし会」開催
⑦ 9/ 6 (水) 「おはなし会」を振り返って
今後のボランティア活動について

※時間は午後2時～4時。ただし、8/9(水)は未定。会場は伊賀上野交流研修センター。ただし、5/17(水)と8/9(水)は上野図書館。2回目以降の内容は、変更の場合があります。ご了承ください。

【講師】 中井千保子さん（おはなしボランティアグループ「じゅげむじゅげむ」代表）

【定員】 20人（先着順）

【受講料】 無料

【申込期間】 3月1日（水）～17日（金）

【申し込み】 上野図書館 ☎21-6868（月曜日休館）

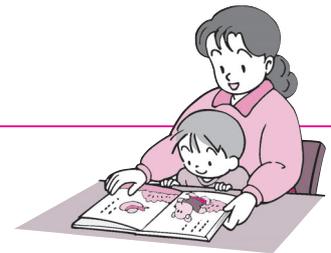
3月のおはなしの会

11日（土） 小さい子むき
25日（土） 大きい子むき
午後2時～ 30分程度
上野図書館 2階視聴覚室

3月の読み聞かせの会

19日（日）、21日（火）
午前10時30分～ 30分程度
阿山公民館図書室 読み聞かせ室

☆絵本の読み聞かせ、紙芝居や手遊びなどをします。



新着図書紹介（上野図書館）

■一般書

『魔女の笑窪』大沢 在昌／著

東京で裏稼業のコンサルタントをする彼女には、掟破りの島抜けをしたという、誰にも言えない過去があった。迫り来る「地獄島の番人」。東京の裏社会を舞台に逃亡劇がくりひろげられる。「新宿鮫無間人形」で直木賞を受賞した著者の最新作。

『神様からのプレゼント』大橋 之歩・大橋 由江／著

米国での移植手術でしか助からない生後4ヶ月の陽佑ちゃん。善意の人々の募金活動によりついにドナーが現れ、6臓器同時移植に成功する。運命の手術の裏にあった壮絶ドラマを、両親が思いを込めて綴る感動手記。

■児童書

『吾輩は猫である』武田 美穂／絵 夏目 漱石／文

猫の目を通して人間社会をユーモアたっぷりに描いた名作が、愉快的絵本になりました。猫の日常を中心に物語を抜粋。日本語の名文を声に出して読んでみよう。

『つな引きのお祭り』北村 皆雄／文 関戸 勇／写真 高頭 祥八／絵

つな引きは運動会の競技になるずっと前から、日本中のいろんな地方で、お祭りのなかで行われてきた。今も行われているつな引きのお祭りを、迫力ある写真で紹介。